



Y's Men International

YMI

WORLD

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

Only for private distribution to members

YMIワールド
2022-2023 No.4
日本語版



内容： 国際会長からのメッセージ・国際書記長からのメッセージ：YMI - 100周年を越えて：変化とインパクトを受け入れる・追悼文：キム元国際会長とペダーソン元国際会長・カバーストーリー：インド：青少年における薬物乱用の増加傾向に歯止めをかける試み・ゲスト・エッセイ：ChatGPT - 災いか恩恵か M・K・ジョージ牧師・謹んで：フィン・ペダーソン元国際会長一個人的な賛辞 ヘンリー・グランドハイム元国際会長・YMCA、私たちのパートナー：「ビジョン 2030」は実現しつつあります カルロス・サンヴィー・伝説的人物：レイチェル・R・リーグ：初の女性国際会長・地域からのニュース - カナダ、マレーシア、スリランカ、アジア太平洋地域、ロシア・ドキュメント：「国連水会議における『水の正義宣誓文』」 国連水会議から・スペシャルアピール：国際歴史アンから

読者の皆さまへ



100周年とその祝賀行事をめぐる喧騒が終わった今、意義ある奉仕のさらなる100年に向けて、前を向き始めるときが来ました。国際会長と国際書記長からのメッセージは、そのための輪郭を示してくれています。

今号のカバーストーリーは、インド南端の奥深くにあるクラブが、憂慮すべき割合を占めるようになった薬物脅威の増大にどのように対処しようとしているかというものです。MDMA や LSD のような合成麻薬の入手が容易になり、若者たちはこれらの薬物を試すよう仲間から圧力をかけられています。そのため、学生コミュニティは社会で最も弱い立場に置かれており、1つの部による1年にわたるキャンペーンは多くの反響と評価を呼び起こしました。

ゲストエッセイは、今世界で話題になっていることについてです。ChatGPTのような人工知能やチャットボットは人類にとって災いとなるのか、それとも恩恵となるのか。その使用と影響力には危惧があります。ウィーン大学の29歳の神学者で哲学者のヨナス・シマーラインは最近、ChatGPTが作成した40分間の教会礼拝を行いました。彼は、その約98パーセントが機械によるものであったため、「実際に従った」ことを認めています。当エッセイストも説教にChatGPTを使ったことを認めますが、シマーラインほどではありません。私たちの生活におけるこの新しい『創造的破壊者』については、読者自身に判断してもらうことにしましょう。

世界YMCA同盟総主事のカルロス・サンヴィーは、世界中のYMCAが「ビジョン2030」を、熱意を持って受け入れ、それが急速に進展していることを教えてくださいました。その4つの柱である「コミュニティ・ウェルビーイング」、「意義ある仕事」、「持続可能な地球」、「正義の世界」は、すべてワイズメンズクラブ国際協会の目標と非常に一致しています。これは、スローガンである「親睦と地域社会への影響における

薬物乱用に対する意識を高めるための集会のスタート地点に南西インド区第1部のワイズメンズクラブのメンバーと共に、一般市民が薬物乱用への意識を高めるための集会に参加しました。

YMIワールド

ワイズメンズクラブ国際協会

国際本部:121 Rue de Lausanne CH-1202 Geneva スイス

国際編集長:コシー・マシュー

日本語版翻訳グループ:田尻忠邦(委員長・大阪)、

田中博之(東京多摩スマイル)、藤原一正(甲府やまなみ)、

生川美樹(川越)、利根川恵子(川越)、花輪宗命(東京八王子)、

比奈地康晴(東京)、倉田正昭(京都)、谷本秀康(広島)、

中井信一(奈良)、前田香代子(熊本ジェーンズ)

印刷:(株)三浦印刷所 三浦克文(岡山)

卓越性」を中心に展開され、健康、環境、教育の3つの主要行動分野に焦点を当てた「戦略2032」に表れています。

国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」にますます焦点が当てられ、私たちの活動もそれに合わせて、特に環境の保全に力を注いでいます。そこで、NGOを含む500以上の団体が国連水会議で発表した「ウォーター・ジャスティス宣言(Water Justice Manifesto)」と題する文書を掲載します。この宣言文は、私たちに十分な考える材料を与えてくれるはずであり、「環境」の傘の下でいくつかの行動を開始するのに十分な推進力を与えてくれるはずで

最後に、国際ヒストリアンからの緊急の呼びかけがあります。100周年記念行事の準備のために国際本部と協力しているうちに、私たちの運動について、特に各地や各区レベルの情報が、いかに乏しいかを知った者もいます。私たちの遺産を保存するというこの呼びかけを真剣に受け止め、次の節目となるイベント、おそらく125周年を祝うときに、より活気のある運動を世界に披露しようではありませんか。

ワイズリー

コシー・マシュー

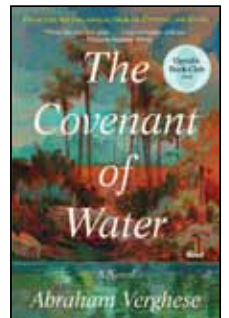
私の本棚から

水の契約:エイブラハム・ヴェルゲーゼ著

『水の契約』(The Covenant of Water)は、『Cutting for Stone』の著者エイブラハム・ヴェルゲーゼによる待望の新作です。2009年に出版された『Cutting for Stone』は、アメリカ国内だけで150万部以上を売り上げ、ニューヨークタイムズのベストセラーリストに2年以上ランクインし続けるなど、文学的現象となりました。

1900年から1977年について描かれる『水の契約』は、南インドのマラバル海岸にあるケララ州を舞台に、奇妙な苦悩に苦しむ一家の3世代を描いています。あらゆる世代で少なくとも1人が溺死しています。そしてケララ州では水がいたるところにあります。一家は使徒言行録の時代にまで遡るクリスチャン・コミュニティの一員ですが、時代は移り変わりつつあり、ビッグ・アンマチ(文字どおり訳すと"ビッグ・マザー")として知られるこの一家の女家長は、その数奇な生涯の中で、家庭内外で想像を絶する変化を目の当たりにすることになります。驚くべき医療技術のシーン、ユーモアのファンタスティックな瞬間、驚きと深い感動に満ちた物語、そして生命の本質を宿した登場人物たち。失われたインドと時の流れそのものを彷彿とさせる『水の契約』は、医学と人間理解の進歩への賛歌であり、今を生きる人々のために過去の世代が受けた苦難への謙虚な証でもあります。近年出版された文学小説の中で最も傑作のひとつです。

(グッドリーズレビュー)



国際会長より

親愛なる皆さん

1年の終わりを迎え、新たなワイズメンズクラブ国際協会の年度が始まろうとしている今、来期に対する私の希望と夢を皆さんにお伝えできることを嬉しく思います。

より良い親睦

私にとって、他のワイズメンバーと分かち合う話や笑顔は宝物です。すべてのクラブが、新しい人々や新しいグループに手を差し伸べることで、会員同士や地域社会での親睦活動に取り組んでくれることを願っています。そのためには、居心地の良い場所から1歩外に出ることも必要かもしれません。

国際的なレベルでは、現在開発中の次期クラブ会長研修会というコンセプトが、熟練したファシリテーターの助けを借りながら、クラブ指導者同士がつながり、アイデアを分かち合い、共に学ぶ機会を与えてくれるでしょう。私は、この新プログラムの微調整が進むにつれて、そのフォローアップに期待を寄せています。「親睦における卓越性」は、戦略2032における目的の使命として定義されていることを忘れないでください。

より良いコミュニケーション

ご存じのように、私のスローガンは、「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」です。私は、皆さんに、現代的なコミュニケーション・プロトコルに従うこと、そしてワイズメンズ国際クラブ協会コミュニケーション・ツリーに精通することを奨励します。

良好なコミュニケーションは親睦を深め、そこから協力が生まれるのです。ワイズメンズクラブ国際協会では、「理想主義」、「率先すること」、「労をいとわないこと」、「関心を持つこと」、「革新」、「包摂性」など、「I」で始まる多くの言葉について述べています。私は、そのリストに「清廉さ」を加えたいと思います。すべての人との関わりにおいて、誠実で、率直で、公平であってください。

戦略2032の下、教育、環境、健康プロジェクトに注力する

戦略2032は、教育、環境、健康という適切な問題に焦点を当てて活動を効率化するよう指示しています。私は、国際連合の持続可能開発目標13に重点を置いて、



環境プロジェクトの活動を増やすようクラブに期待しています。気候変動とその影響に立ち向かうために緊急に行動を起こしてください。Week4Wasteのクリーンアップ・キャンペーンに引き続き積極的に参加してください。学校やその他の機関との植樹プロジェクトを検討してください。

会員増強

私の考える強いクラブとは、少なくとも15人の活動的な会員がいることです。すべてのクラブに、次年度に少なくとも1人の新会員を入会させるようお願いいたします。理想的には6人で構成され、年度内に1人を勧誘することを目標とするエクステンション・チームをクラブレベルで作ることを奨励します。

YMCAとの関係

ワイズメンズクラブ国際協会は、もともとYMCAをサポートするために設立されました。私は、私たちの関係がより現代的で互恵的なものとなり、公平で持続可能な世界のために協力し合う真のミッション・パートナーとなるよう、発展し続けることを望んでいます。

あなたの(私たちの)光を輝かそう

私のテーマ「輝かそう、あなたの光を」は、聖書のマタイによる福音書5章16節からインスピレーションを得ています。私たちの光を籠の下に隠すのではなく、私たちが世界中で行っている良い仕事を照らし出しましょう。私たちは、積極的に、誇りを持って、自分たちのしていることを分かち合い、良い話をするので、新しい人々をクラブに引き入れ、私たちの影響力を高めましょう。私たちは、しばしば謙虚になりすぎています。2023年から24年にかけて、私たちは、認知度とブランド・アイデンティティの確立を優先する必要があります。ひとつのクラブが放つ光は弱々しくても、何千もの電球が一緒に輝くことで、明瞭さと光り輝く壮大なスケールを達成することができるのです。

心からの敬意と温かい願いを込めて。

ウルリック・ラウリドセン

YMI - 100 周年を越えて：変化とインパクトを受け入れる



過去100年間、ワイズメンとウィメンは、地域社会の光明となり、より良い、より公正で思いやりのある世界への道を照らしてきました。その無私的行為を通じて、YMIの会員は地元のYMCA取り組みを支援し、困っている人々を援助するなど、数え切れないほどの人々の生活に貢献してきました。前向きな変化を促進するための献身的な活動は、奉仕と犠牲的な寄付の代名詞として高い評価を得ています。過去1世紀以上にわたり、YMIは、自分自身の生活だけでなく、他の人々の生活も向上させ、並外れた変化をもたらす普通の個人の力を一貫して実証してきました。

最近台湾で、YMIの100周年を記念して、「あなたがいるから素晴らしい」というテーマでお祝いをしました。実際、YMIの偉大さは、すべてのクラブ会員、過去と現在の指導者、YMCA、そして地域社会の努力の積み重ねによるものです。創立目的への揺るぎない関わりを通して、私たちは愛、犠牲、思いやり、寛大さを体現し、慈悲深い行いを通して神に栄光をもたらしてきました。

次の世紀への旅に出るにあたり、私たちをここまで導いてくれたものを振り返り、今後の方向性を考えることは極めて重要です。私たちは、過去100年間私たちを導いてきたビジョンを熟考し、変化する社会、進化するニーズ、そしてYMCAの原動力の移り変わりに適応していかなければなりません。私たちの運動は、近代化の過程にあり、現在の地域社会のニーズと、公平で持続可能な社会の創造におけるYMCAとの協力的パートナーシップに取り組むことで、21世紀にも通用する新たなブランド構築の可能性を模索しています。

100周年という節目を超えて、私たちの視線は未来にも向けられなければなりません。気候変動から社会的不平等まで、私たちの世界は大きな課題に直面しています。YMIのクラブ会員として、私たちは地域社会のリーダーとして積極的な変革を推進し、他の会員にもそれに続くよう促す責任を担っています。私たちの未来を形作るのは、私たちの努力の積み重ねなのですから。

戦略2032に基づき、私たちはYMIをフェローシップと地域社会へのインパクトで名高い組織へと成長させるための10年間の青写真を描いています。この戦略計画は、公平で持続可能な世界を構築するために、共通の目的によって団結し、協働して取り組むことを鼓舞するものです。今こそ、ミッション・パートナーとして

のYMCAとの連携を強化し、私たちの総合的な影響力を高め、世界的なプレゼンスを拡大するために、私たちの決意を新たにするときです。アイデンティティ、革新、包摂性という柱に焦点を当てることで、私たちは国際的な奉仕団体として永続的な財産を残す道を開きます。

前途に待ち受ける課題と機会を受け入れながら、決意と情熱、そして共通のビジョンを持って前進していきましょう。私たちは共に、深い変化をもたらし、世界に消えない足跡を残し続けることができるのです。YMIの100周年を超える旅路は、適応、成長、そして揺るぎないコミットメントのひとつであり、私たちのアイデンティティを築き、革新に適応し、包摂性を受け入れることによって、人類に貢献するものです。

アイデンティティ

- YMCAを、単なる寄付先やボランティアサービスの提供先としてではなく、使命と進歩のための真のパートナーとして、目的を持った協力関係を構築する
- 特定のグローバルな課題（健康、教育、環境）との連携を図る
- 同じ志を持つ組織を特定し、より高い知名度とインパクトのために、彼らとの繋がりを戦略的パートナーシップを構築する
- スポンサーシップ、共同ブランド、社会的企業を通じて、デジタルおよび地域社会での存在感を高める
- 定期的、一貫的、肯定的なソーシャルメディアへの表出と的を絞ったコミュニケーションを通じて、前向きな社会的イメージを発展させる

革新

- 新しい世代を惹きつける新しいクラブモデルを探求する
- 伝統的な奉仕クラブのパラダイム（理論的枠組み）を再活性化する方法を模索する。その一例として、あらゆるレベルの式典や行事に、若々しい方法を取り入れること
- 創造的な募金活動のアイデアと機会を推進し、公共部門と他の民間部門からの支援と参画を増やす
- 特に、リーダーシップ研修とコミュニケーションの分野において、デジタルやその他の技術の活用を改善する

- IBCのコンセプトを発展させ、クラブの連携および組織の連帯を図る新しい方法を見つける

包摂性

- 多世代および男女混合のワーキンググループの開発を推進し、理解、尊重、協力を促進する
- 家族の参加を促し、また、女性や若者の参加に向けた取り組みを強化し、自分の意見を述べてもらう
- 国際レベルでの文化、宗教、ジェンダーの多様性を追求する
- 2,500のコミュニティでの存在感を高め、あらゆる民族的、文化的、宗教的背景を持つクラブを受け入れることを戦略とする
- 多様性と相互尊重に根ざした、精神的なアイデンティティを構築する



追悼

ワイズメンズクラブ国際協会は、2023年3月29日(水)に89歳で亡くなったエリック・H・キムと、2023年5月9日(火)に77歳で亡くなったフィン・ペダーソンの両氏に追悼の意を表します。



**エリック・H・キム元国際会長
第73代国際会長1998/99**

1934年2月12日～2023年3月29日(享年89)

キム元国際会長のYMIへの関わりは、50年以上と2つの大陸に亘りました。彼は1967年に韓国のデジョン(大田)ハンバットクラブのチャーターメンバーで、その後アメリカに移り、1976年にハリウッド・ウィルシャー・コリアンクラブの設立に携わりました。2003年ウィルシャー・クラブの解散後、カリフォルニア州のダイヤモンドバーイーストバレーワイズメンズクラブのメンバーとして最後を過ごしました。

YMIでの活動期間を通して、彼は疲れ知らずの働き者であり、クラブ会長と地域と区の事業主任として複数の任期を務めました。特にキリスト教強調に焦点を当て、深いキリスト教信仰と大学の聖書学の講師としての彼の経験を活かしました。実業家としても衣料品業界に携わり、1976年にフォーマルウェアの製造会社を設立しました。

彼は1987年～1988年にかけて太平洋南西区理事を務め、1994年～1997年まで国際議員となり、1995年～1996年には米国地域会長を務めました。彼の卓越したリーダーシップが認められて、1998年～1999年に第73代国際会長に選ばれ、その役職を務めました。

キム元国際会長は、区、地域、国際の各大会に参加し、世界中のワイズメンから知られ、尊敬されていました。彼の死は、友人、家族、YMIのメンバーにとって大きな喪失となります。

安らかにお眠りください、エリック・キム元国際会長。



**フィン・ペダーソン元国際会長
第86代国際会長 - 2011/12**

1946年4月24日 - 2023年5月9日(享年77)

フィン、1982年にスタヴァンゲルセントスヴィン・ワイズメンズクラブのチャーターメンバーとしてYMIに加わりました。1986年にはヒンナワイズメンズクラブの設立時の会長となりました。最初からフィンは活動的で献身的なメンバーであり、クラブ、地区、地域、そして国際レベルでリーダーシップのポジションを確実にこなしました。そして、2011/12年に国際会長に就任し、「とにかくやろう成せば成る」をテーマに、「ただやるのみ。」をスローガンに掲げました。彼は2012年にスタヴァンゲルで開催された国際大会において重要な役割を果たしました。国際執行役員の任期終了後も、YMIに引き続き、地域および国際レベルでさまざまな役職を務め、憲法審査委員会のメンバーや国際事業主任のメンターとしても活動しました。

フィンは銀行業や金融業界で働いていましたが、コミュニティへの貢献を優先事項とし、YMCAで活動し、スタヴァンゲルの地元の教会や非営利団体に対して自発的に財務的な貢献をしていました。

フィン元国際会長は、癌との闘いの末、スタヴァンゲルの病院で亡くなりました。葬儀は5月19日(金曜日)にノルウェーのスタヴァンゲルのヒナ教会で行われました。

フィンは妻のラグヒルドに看取られました。

YMIは彼女やフィンの大家族、友人に心から哀悼の意を表します。

フィン・ペダーソン、安らかにお眠りください。

カバーストーリー

インド：青少年における薬物乱用の増加傾向に歯止めをかける試み

南西インド区（SWIR）第1部のマーサンダム・キングスワイズメンズクラブが中心となり、若者の薬物使用に対する意識を高めるため、2023年3月にウォークソンを開催しました。インド、ケララ州の若者の間で深刻化する薬物乱用の傾向に歯止めをかけるため、ナーガコイルのS.T. ヒンドゥー大学の1,500人以上の学生がこの活動に参加し、街の通りを歩きました。

SWIRが活動する南インドのケララ州では、麻薬および向精神薬取締法違反の登録件数がかつてない程に増加しています。最新の統計によると、2022年には26,000件以上の登録者が報告されており、これは2016年に報告された登録者の約300%増になっています。しかし、もっと問題なのは、ますます多くの子どもたちが麻薬中毒の罠にはまり、麻薬の売人に利用されていることです。州警察が最近実施した調査によると、21歳以下の麻薬使用者のうち、40%が18歳以下の子どもでした。このような背景からSWIRは2022-23年度の区プロジェクトとして「薬物にノーと言おう」キャンペーンを採用しました。国内における薬物乱用の深刻さとその後の影響を認識し、様々な州政府と政府機関は薬物乱用のとどまるところを知らない広がり抑制するために、多くのプログラムを実施しています。マリファナを含む薬物の弊害を認識させ、カウンセリング活動を実施し、治療とリハビリを提供するといったプログラムがその一部です。

当区のいくつかのYMIクラブは、年間を通じて政府と協力し、様々な学校や大学の生徒、学生たちに一連の意識向上教室を実施致しました。クラブは、また、政府機関が実施した薬物使用に反対するキャンペーンや集会にも参加しました。多くのクラブでも一般の人々にこの点を強調するために、独自のウォークソンを実施しています。

ニランジャナ・ビマル 次期国際議員、SWIR



行進の先頭に立つクラブメンバー



啓発セッションに参加する学生たち



キャンペーンに参加するS.T.ヒンドゥー大学の学生たち



ChatGPT - 災いか恩恵か?

M・K・ジョージ神父

人工知能(AI)チャットボットとして人気の ChatGPT が、2022 年 11 月のサービス開始からわずか 2 ヶ月で 1 億人のユーザーを獲得したと報じられています。報告によると、チャットボットは 1 月に 1 日あたり 1300 万人のユーザーを記録したそうです。このプラットフォームは、1 億ユーザーを突破するのに、それぞれ 2 年半と 9 ヶ月を要したインスタグラムや TikTok を含む、他のソーシャルメディア・アプリを上回っています。以下のエッセイで著者は、社会的、倫理的、道徳的な落とし穴を検証し、AI に出し抜かれないように十分なスキルを身につけるよう警告しています。



数ヶ月前、友人から ChatGPT を紹介されました。私は驚愕しました。早速、近いうちに行わなければならない講義のアウトラインを得るために使いました。素早く、要点を押さえ、全く論理的で説得力のあるアウトラインができ、ChatGPT は、きっと役に立つと感じました。

ChatGPT (ジェネラティブ・プリトレインド・トランスフォーマー) に関する現在の文献を見直すと、すでに反対の意見があることに気がつきました。4 月 12 日現在、ロシア、中国、北朝鮮、キューバ、シリア、イラン、イタリアの 7 カ国が ChatGPT を禁止しています。

ChatGPT がもたらす約束と脅威は何なのか、検証してみる価値はあるかもしれません。

ChatGPT とは何か?

「ChatGPT は、AI (人工知能) 技術による自然言語処理ツールで、チャットボットと人間のような会話やそれ以上のことができるものです。この言語モデルは、質問に答えたり、電子メールやエッセイ、コードの作成などのタスクをサポートしてくれます。」と、ニューヨークを拠点とする ZDNET の副編集長のサブリーナ・オルティスは言っています。

人工知能 (AI) 研究会社の OpenAI が、2022 年 11 月に発表して以来、すべての人の想像力を掻きたててきました。このアプリケーションの多機能さは信じられないほどです。

AI を搭載したチャットボットは、カスタマーサービスからオンライン検索の方法まで、あらゆるものに革命をもたらす可能性があります。コンピューター・プログラムのコーディン

M・K・ジョージ神父はイエズス会司祭として叙階され、インドのトリバンダムにあるロヨラ・カレッジの元校長で、イエズス会総長の顧問としてローマに駐在しています。

グ、音楽の作曲、電子メールの下書き、記事、ポッドキャスト、プレゼンテーションの要約、ソーシャルメディアへの投稿のスキプト、記事のタイトルの作成、数学の問題の解決、検索エンジン最適化のためのキーワードの発見、記事やブログ記事の筆耕、ホームページ用クイズの作成、ブログ記事用のプレゼンテーション原稿など、既存のコンテンツを別の媒体用に書き換える、製品説明の作成、ゲームのプレイ、履歴書やカバーレターの作成を含む求職活動の支援、複雑なトピックをより簡単に説明する、そしてその他多くのことを実行することができます。

ニューヨーク・タイムズ紙のジャーナリスト、ファルハド・マンジュは最近、「すでに ChatGPT は私の仕事のやり方を変えている」と書いています。他の多くの専門家もこの見解を認めています。

懸念事項

すでに ChatGPT を禁止している国々は、様々な脅威を想定して対応しています。IT 専門家のジョン・マーティンデルは 4 月 12 日に、「これらの国の中には、プライバシーの懸念に基づいてアプリケーションを禁止した国もあれば、その他の国、特に北朝鮮、中国、ロシアでは、米国が ChatGPT を使って誤った情報を流すと主張した国もある。」と語りました。

「AI チャットボットが人間の知性にとって代わったり、萎縮させたりすることへの懸念を表明している人もいます。例えば、チャットボットはどんなトピックでも (必ずしも正確ではないが) 数秒以内に効率的に記事を起草することができ、人間のライターが不要になる可能性がある」とオルティスは言っています。否定的な面では、ChatGPT は不正確で無意味なことさえあります。

その他の懸念としては、人間が職を失うかもしれないという恐れがあります。技術の進歩によって仕事が失われるのはいつものことだと言う人もいますが、AI の進歩のスピードが速いということは、同じ問題に直面している業界が複数あるということです。教育からイラストレーション、カスタマーサービスに至るまで、ChatGPT とその基盤となるテクノロ

次ページへ続く → 7

元国際会長 フィン・ペダーソン – 個人的な賛辞



2023年5月9日、敬愛するワイズメンズクラブ国際協会の元国際会長 フィン・A・ペダーセンが77歳で逝去されたとの知らせを受け、大変残念に思います。フィンは、1982年にスタヴァンゲル・セントスヴィットゥン・ワイズメンズクラブのメンバーとなりました。1986年、彼はヒナワイズメンズクラブを設立し、クラブのチャーター会長を務めました。

フィンは、ワイズ運動内で早くから重責を担い、さまざまなレベルの役員としてすぐに重要な地位を得ました。1999-2000年にノルウェー区役員会のメンバーとなり、2003-2004年には区理事を務めました。2005年から2008年にかけては国際議会の議員に選出され、2006年から2007年にかけてはヨーロッパ地域の会長に就任しました。2011-12年には国際会長を務め、「とにかくやろう-成せば成る」をテーマに、「ただやるのみ。」をスローガンに掲げました。

フィンは、2012年にスタヴァンゲルで開催された国際大会の準備と運営にも大きく関わりました。国際執行役員としての任期終了後、彼は国際的にも国内的にもワイズメン内で信頼されるポジションに就き、自分の時間と専門知識を喜んで分かち合いました。数年にわたり憲法審査委員会のメンバーとして高い評価を受け、さらに国際事業主任のメンター（国際議会議員と国際事業主任のアドバイザー）も務めました。

仕事のキャリアは、銀行と金融業界でした。また、地元のYMCA

で精力的に活動し、スタヴァンゲルにある地元のヒナナの教会やその他の地元の組織でも多大な貢献をしました。

ラグンヒルドとフィンは、世界中を飛び回るペアで、世界中で開催される数え切れないほどの国際大会やその他のYMIイベントに長年参加してきました。私はラグンヒルドとフィスが、いくつかの大陸を旅する際、何度も一緒に旅することができました。また、フィンは、多くのワイズメンのイベント（韓国やロシアなど）への旅行をアレンジしてくれ、多くの人がその地での楽しい思い出を持っています。フィンは、参加者が安心して旅ができるよう、常に準備に力を注いでいました。また、スポーツ、特にサッカーに非常に興味を持っていました。大好きなトッテナム・ホットスパーズがホホワイト・ハート・レーンで試合をするときには、何度もロンドンを訪れて観戦していました。

フィンは、世界中に友人がいて、ソーシャルメディアに強く投稿された数多くの追悼の言葉や挨拶が、それを物語っています。

私にとってフィンは、とても良い友人であったばかりでなく、メンターであり、インスピレーションであり、アドバイザーでありました。フィンはまた、私が2017-2018年に任期をスタートさせた際、ワイズメンズクラブ国際協会を代表して、アメリカのラスベガスで私を正式に国際会長とする就任式を執り行ってくれた人物でもあります。

フィンは忠実なサポーターであったラグンヒルドを残しました。人生のパートナーであり、共に歩む仲間であり、自分の友人の友人でもあった人を失った彼女の悲しみを察します。

フィン・アスビョルン・ペダーソンの良き思い出に平安が訪れますように。

ヘンリー・J・グリンドハイム 2017-2018年国際会長

7 ページ続き

ジューは、現代世界を劇的に作り変えようとしています。

それが教育の質に影響を与えるのではないかと懸念も同様に心配されます。大衆のための教育の質が低下している世界において、これは全く良いニュースではありません。

警告

このテクノロジーが社会生活に与える直接的な影響は、ヘイトスピーチや極論を拡散させるために利用される恐れがあることです。AIが支援するチャットボットを使えば、フェイクニュースはより速く、より効率的に広まります。人権の分野でも、その脅威は同様に現実的です。「特定の集団に、偏った言葉を使うように設定されていれば、チャットボットを使って差別を広めることは可能です。平等の権利には、チャットボットを包括的で差別的でない語彙で構築することが必要です。」と、データサイエンティストのジョテイルモイ・バネルジーは警告しています。

AIが持つ力は、本当に可能性であり脅威でもあります。高い倫理観があれば、それは強力です。あちこちにいる独裁者の手にかかれば、残念ながらこのツールは人類にとっての脅威となります。

倫理的問題を引き起こす可能性もあります。テクノロジーと人工知能の利点を称賛しながらも、教皇フランシスコ

は、AIは深刻な問題を提起し、人間の尊厳と共通の利益を促進するために、倫理的かつ責任を持って使用されなければならないと述べています（バチカン特派員デボラ・カステラーノ・ルボフ、2023年3月27日）。

教皇は、「したがって、私は、あなた方の審議において、すべての男性と女性の本質的な尊厳を、新たなテクノロジーを評価する際の重要な基準とすることを奨励します。男女の尊厳を尊重し、人間生活のあらゆるレベルで、尊厳を表現することを高めるのに役立つ限り、その技術は倫理的に健全であることが証明されるでしょう。」と続けています。

あなたが好むと好まざるとにかかわらず、ChatGPTは毎日、新聞の見出しに登場しています。ChatGPTに精通し、それに対処する能力と専門知識は、あなた自身にとってだけでなく、人類全体にとって極めて重要です。ジェローム・ルースは、「次に何が起こるか分からない」と題した鋭いエッセイの中で、「世界平和、クリーンエネルギーの転換、AIの規制など、今日私たちが追求している解決策は、いつか新しい世界秩序の基礎を形成するようになるだろう」と書いています。

人工知能は恐れるべきものではありません。しかし、AIに取って代われないだけのスキルが必要です。

「ビジョン2030」は実現しつつあります。 カルロス・サンヴィー世界 YMCA 同盟総主事

2022年7月に開催された第20回世界YMCA大会で「ビジョン2030」が採択されて以来、YMCA運動は個人としても団体としても、2030年に向けたロードマップを急速に加速させています。



オフィスで私たちは「今が私たちの時であり、今が私たちの瞬間だ」と言いました。YMCAは、既存の計画や新しい計画を、私たちが共有するグローバル・ビジョンにどのように合致させることができるかを真剣に問うています。2月に行われた調査では、各国のYMCA運動のうち75の組織が取り組みを始めている

るか、あるいは始めようとしていることが明らかになりました。

そして、それは各地のレベルでも起きています。3月末に米国・コロラド州で開催された各国の総主事が集まった会議では、ホストを務めたYMCAロッキーズが、ほぼすべての戦略計画をビジョン2030の4つの柱に合わせることができたという話を聞きました。

ビジョン2030とは何ですか?と尋ねる人がまだいます。

表面的には、1つの共有ビジョン、1つの共有ミッション、私たちが「インパクトの柱」と呼ぶ4つの共有優先事項、そしてそれぞれの柱に対する3つの目標です。ひとつは、YMCA内部の目標、ひとつは、YMCAが奉仕する地域社会の目標、そしてもうひとつは、世界の若者の声を高めるための地球規模のアドボカシーの目標です。

しかし、その下にも上にも、より大きな影響力、一貫性、明確性をもたらすために、YMCA運動内の私たちだけでなく、私たちが共に活動する人々、特にYMCA外のパートナーや寄付者に対しても、初めて真に共通の目標が設定されたのです。

世界YMCA同盟は、アメリカ、カナダ、イングラン/ウェールズ、スコットランド、アイルランド、ドイツ、フランス、ベルギー、ノルウェー、ケニア、南アフリカ、インド、フィリピン、香港で、ビジョン2030に関する戦略と計画に関する討論会に、ライブまたはオンラインで参加してきました。これらのYMCAは、すべて、ビジョン2030に真剣に取り組んでいます。

年末までに、私たち世界YMCA同盟には3つの目標があります。

3つの目標

まず第1に、ビジョン2030の4つの柱である「コミュニティ・ウェルビーイング」、「意義ある仕事」、「持続可能な地球」、「正義の世界」にそれぞれ運動全体の「柱チーム」を設立し、機能させます。



各「柱チーム」のリーダーを募集し、各国の運動から意欲的なボランティアを募り、各柱の「チャンピオン」を交代で務めるよう各国運動に要請します。

第2に、4つの分野でビジョン2030の実現を支援するため、4つの「運動支援機能」を設置します。すなわち、「戦略的調整」、「学習、革新、インパクト」、「アドボカシーと影響力」、「資源動員」です。

そして第3に、これらの「柱チーム」と「運動支援機能」を支援するために、世界YMCA同盟のチームと業務を再編成することです。つまり、ビジョン2030を実現するために運動を支援するのです。

私たちはまた、「意義ある仕事」を支援するための世界的な取り組みに資金を提供し、その規模を拡大する方法として、史上初のグローバルな「若者の未来」インパクトファンドという画期的な可能性を含む、内外の財源を動員することにも力を入れています。

驚異的な進歩

現場では、特にビジョン2030に関連した他団体との協働において、私たちが所属する青少年エンパワーメントのプレミアリーグでプレーするためのステップアップとして、報告すべきことがたくさんあります。

「デジタル・エクイティ」プログラムでは、YMCAグレーターヒューストンとともに、ヒューレット・パッカートの支援を受けたYMCAデジタル・ハブの第1号を立ち上げることができました。

今年は、モルドバ、アメリカのロングビーチ、インドのニューデリー、そしてセルビア、北マケドニア、アルバニア、コソボを含む西バルカン半島で、さらにいくつかのハブを立ち上げる予定です。

すでに、これらのハブを通じて10万人以上の人たちに連絡を取っています。その多くは、コンピュータを使ったことのない学校の若者たちです。

YMCA: 私たちのパートナー



難民支援の分野では、ヨーロッパYMCA同盟の優れた活動のおかげで、アクセンチュアが今年、80万米ドルの追加助成を決定しました。

私たちは、スロバキア、ルーマニア、モルドバ、ウクライナのYMCAで、ウクライナ難民を含む恵まれない人々にオンラインで仕事や教育を受ける機会

を提供する素晴らしいプログラムを続けています。

また、ユニセフの「ジェネレーション・アンリミテッド」プログラムへの協力が、社会的企業の発展（Gen UのImaGenベンチャー・イニシアチブの一環として）、より持続可能な地球の創造（Gen UのGreen Risingイニシアチブの一環として）、青少年のボランティア活動の3つの分野で拡大していることを報告できることを嬉しく思います。

一方、YMCAチェンジ・エージェントの第5期生も順調に進行中で、57カ国から集まった120人の若いリーダーで構成されています。現在、私たちが「21世紀型スキル」と呼ぶモジュール



ルに移行しています。今後4ヶ月の間に、このうちの4つを実施する予定です。

しかし、私たちの未来に投資するということは、今すぐに投資するということです。世界YMCA同盟は、これらすべてを実現するためには、今後18ヶ月間で150万米ドルが必要だと見積もっています。

私たちは、皆、このことが私たちをどこへ導くのか、自問すべきなのです。端的に言えば、それは私たち自身のため、私たちが奉仕する若者たちのため、そして私たちが共に働く人々のために、私たちを可能な限り最良のものにすることなのです。

6月6日に179歳を迎えた私たちの愛するYMCA運動は、ビジョン2030と呼ばれる共通の旅路にあります。ワイズメンズクラブ国際協会の友人たちにも、共に歩んでくれていることに感謝します。

ワイズメンズクラブのメンバーは、2024 年末までに150万米ドルを集めることを目標とするYMCA ビジョン2030基金を支援いただけますか？

世界YMCA同盟も寄付のウェブページをご覧ください、carlos@ymca.int または kathleen@ymca.intまでご連絡ください。

レイチェル・R・リーグ:初の女性国際会長

女性が社会で男性と同等の権利に近づくまでには長い年月がかかりました。その闘いは、現在も続いています。規定された性別の役割分担はしばしばハードルとなり、女性の成功を阻みます。だから、女性が指導的地位に就くたびに、その過程には少なくとも性別による暗黙の闘いがあることをよく理解すべきです。1974年以来、ワイズメンズクラブ国際協会（YMI）は、女性の入会を認めており、10年の経過とともに、女性が組織で重要な役割を占めるようになりました。そのような女性の一人がレイチェル・R・リーグで、1986年から1989年まで国際議員に選出され、1987年には地域会長を務めました。1990年、レイチェル・リーグはYMI初の女性国際会長に就任し、以後の国際会長の高い基準を打ち立てました。

レイチェルは大学を卒業した第一世代で、教育学の修士号を取得し、後に小学校の校長になりました。教育者としての役割は、彼女の人生に有益な価値を付加する重要なものであり、そのことについて非常に努力してきました。仕事と家庭を両立させ、どちらにも妥協しない彼女は、組織内外の多くの女性にインスピレーションを与える存在となりました。彼女は、多くのプロジェクトや募金活動に参加し、成功を収めました。現在進行中の世界的プログラムであるロールバックマラリアプロジェクトが導入されたのは、彼女が国際会長に在任中のことでした。レイチェルは2011年、その卓越した活動に対してYMIから、最高の栄誉であるハリー・M・バラントイン賞を授与されました。レイチェル・R・リーグは、リーダーシップと女性

伝説的人物

のエンパワメントの卓越した模範としてYMIの各章に名を連ね、組織の女性たちにインスピレーションとモチベーションを与えています。

出典「私たちの遺産を祝う」:

マイルストーン-レジェンド-インパクト (YMI 出版物)



ハリー・M・バラントイン賞は、ワイズメンズが贈る最高の賞です。先日、カロンデレットYサービスクラブ(セントルイス)の例会で、この賞を受賞した二人のメンバーが一緒になりました。このクラブは、女性受賞者が2人いる唯一のクラブです。また、国際会長1名、エリア会長3名、その他エリアと国際のリーダーを多数輩出しているクラブでもあります。

上の写真は、2023年度受賞者のデビー・キャンベル・レドモンド(左)と2011年度受賞者のレイチェル・R・リーグです。

米国以外で世界の初のクラブが 100 周年記念を祝う

カナダ、ノヴァスコシアのシドニー・リバービューYサービスクラブは、アメリカ合衆国以外での最初のクラブとして、カナダ、ノヴァスコシアのシドニーで72回目の沿海区の大会をホストしました。このイベントは、シドニーワイズメンズクラブのチャーター100周年を記念するものでした。シドニークラブは、合衆国以外で認証された最初のクラブで、「ワイズメンズクラブ国際協会を作ったクラブ」の称号を得ています。

大会には多くの参加者が集い、YMIの旗を会場のケープ・ブレトン市民センターに掲げ、市長による、この最も記念すべき行事を祝う宣言を読み上げから始まりました。

金曜日には、ロールバックマラリアのための資金集めのゴルフトーナメントが行われ、750カナダドル余が集められました。金曜日の夜には、シドニー・リバービューコミュニティセンターに登録して集まった代表たちのレセプションが食事とエンターテイメントで行われました。非常に温かく友好的な雰囲気の中で、懐かしい友情が再燃し、新たなものも形成されていきました。

私たちのYMCAの責任者、サブリーナ・ヴァッチャーも出席し、シドニー・リバービュークラブの100周年を祝しての400カナダドルの寄付が、カンバーランドYサービスクラブから寄贈されました。

フェローシップ、食事そして罰金

会長主催晩餐会が土曜日夜に行われ、それは楽しい「罰金の会」で、シドニー・リバービューの会長、ローリー・マーチソンによる、「ここから私たちは何処に行くか」という基調講演が行われました。日曜日の夜には、国際晩餐会



が、やはり楽しい「罰金の会」として催され、さらに非常に有益な報告が、元国際会長のジョウン・ウィルソンから、3月に台湾で行われたYMI100周年祝

賀会についてなされました。それ以外にも、国際会長、国際事務局長、世界YMCA同盟、アメリカ地域会長、トレドワイズメンズクラブからも祝辞をもらいました。それぞれの宴席において、素晴らしい地元のエンターテイメントが提供され、参加者全てから大変に歓迎されました。

シドニー・リバービューYサービスクラブは、ピクトウYサービスクラブとピクトウYサービスクラブウィメンによって、その100周年を記念してのゴールデン・ブックに記帳されたことを大変光栄に思っています。



土曜日の午後、参加者は、長年炭鉱の町であるグレイス・ベイ近くにある、炭鉱博物館に出かけ、さらにメンベルトウ歴史公園を訪ね、ミッキマックの歴史と文化についての非常に詳細な探査を行いました。ミッキマックの人々は、この地域の先住民であり、彼らと私たちの式典を共有できたことを誇りに思います。

日曜日の朝には、シドニー・リバービュークラブによって、教会礼拝が行われ、ワイズマンによる朗読と独唱が行われました。礼拝の後には、2023/24年度の区チームの就任式がおこなわれました。式には、以下の写真にある様に、何人かのカナダ／カリブ海地域の過去の会長も参加しました。土曜日の夕宴は、シドニー・リバービューYサービスクラブへの「ハッピー・バースデー」の歌とお祝いのケーキへの入刀と参加者への提供で終了しました。

月曜日の朝、シドニー・リバービュークラブは、コミュニティセンターでお別れの朝食会を開催し、多くの参加者と温かい別れの挨拶が行われました。

ローリー・マーチソン、
キャロル&サンデー・レイノルズ



マレーシア：活動の成果



ジョホール・イーグルスYサービス・クラブは、プサット・ジャガアン・シュクル・ハチがその従業員やケアテーカーに農場のモニタリングと維持管理の大切さを教えてくれたことに感謝します。彼らは1ヶ月以上にわたってブキ・インダにあるYイーグルス・サテライトファームで実験と学習を行いました。彼らは農場の運営、水の流れ、水位を監視する方法を学び、メンバーの指導のもと、フィルター清掃も現地体験しました。彼らの献身的な努力と熱心さ、そして取り組みにより、私たちは農場の一つを彼らの地に移転することを決定しました。覚書に署名する際、ケアテーカーは、「農園はセンターのためだけでなく、その周辺地域にも影響を与えるだろう。」と述べました。

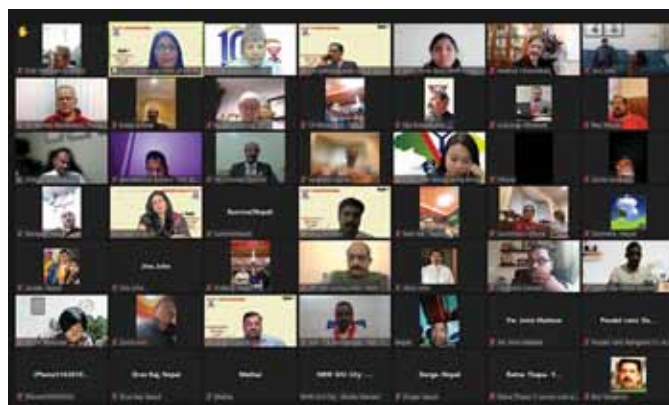
出典 FBページ

オンラインのIBC ミーティングの開催と文化交流

IBCの親睦と文化紹介を兼ねたオンライン会議がシャルジャ(UAE)、ルンビニ(ネパール)、ロングアイランド(米国)、ピーニャ・バンガロール(インド)のワイズメンズクラブから60名以上のクラブ会員が参加して2023年4月1日に開催されました。

参加したクラブ会長とそのチーム、特に、シャルジャのソフィア・ジョージクラブ会長とプリータ・ジェイコブクラブ書記に感謝いたします。同様にアジア太平洋地域、米国地域、インド地域からの参加に感謝いたします。

南東アジア区ディパク・バンダリ次期区理事



スリランカ：拡大する医療支援



モラトワイズメンズクラブは、スリランカ北中部州ケキラワのサラセミア疾患に苦しむ子供たちに必要な1,000万スリランカ・ルピーのうち705,000スリランカ・ルピー(約2,350米ドル)の救命支援を行いました。ケキラワの幼児、ガヴィーナ・バンダラは、長い間サラセミアに苦しんでおり、緊急の骨髄手術が必要でした。

写真に写っているのは、ニマル・C・ディアス・クラブ会長(右端)とヴェラン・デ・メル・クラブ書記(右から3人目)。幼児ガヴィーナと両親です。

クラブ、部、区のリーダーのみなさまが、ストーリーや記事をYMIワールド誌に寄せてくださるようお願いいたします。

次号掲載の締め切りは
2023年8月31日です。
お急ぎください!

ロシア：相変わらず活発に

5月初めに、ウファ(ウラル・シベリア部)で開催されたロシア区大会で、ロシアの3つの部(バレンツ、サンクトペテルブルク、エカテリブルク)の13クラブを代表する24名の参加者は、それぞれの部長から、この1年間の活動報告を受けました。

リリア・シャルネヴァ(バレンツ部)は、出来るだけ堅苦しくない形で老人ホームを訪問したことについて報告しました。彼らは、高齢者向けのコンサートを頻繁に開催し、プレゼントや絵ハガキを贈ったのです。クラブのメンバーは、友好関係を保つために、年4回この老人ホームを訪問します。メンバー



グッド・エンジェル賞受賞者
カルゴボルツェワ・リュドミラ

は、お年寄りが喜ぶので、子供たちが幼稚園で作った手編みの手袋、靴下、イースターの絵ハガキを持っていきます。

エカテリブルクでは、L・コノバロワが報告したように、YMCAとの協力関係に的を絞って活動をしています。クラブのメンバーは、若者たちのために定期的にキャンプを開催し、子供たちに遊び心のある方法で料理を教えたり、女子の学校で授業をしたり、英語での公演をしたりしています。サンクトペテルブルクのクラブは、障がいのある子供たちを育てている家庭を訪問し、親たちにインタビューして、彼らが抱えている問題、要望、そしてそれらの困難を克服する解決策の提案について話し合います。そして、ここで話し合われた内容については、すべて分析することになっています。

その日の終わりに催される文化プログラムでは、一服の新鮮なエネルギーが供給されます。バレエ愛好家は、バシキール・オペラバレエ劇場でコルセア(「海賊」)を鑑賞します。ウファの観光ツアーが組まれ、船から見た街を称賛する機会



区イベントの参加者たち

も提供されます。ネステロフ美術館、バシキリア国立博物館、考古学・民族学博物館、そしてトルキン美術館などへの訪問は、忘れられない印象を残しました。

今年のグッド・エンジェル賞は、ヒビヌイ・ティエツタクラブ(バレンツ部)のカルゴボルツェワ・リュドミラが受賞しました。

ルドミラ・トゥキナ次期理事が率いる次期区役員チームが宣誓を行いました。ルドミラ次期理事は、聴衆に次期の計画を発表し、次期の事業主任も指名しました。

2022/2023年度 ロシア区理事、リンマ ベログロワ



敷地の清掃作業

香港：紙の彫刻 / アートワークショップ



ワイズメンズクラブ国際協会香港部は、彫刻家パン・シンチと芸術家ペン・シュイの指導の下で、「思いやりのある包摂的な社会になること」をテーマに、4月に、リサイクルの段ボール紙を使った3次元紙彫刻/アートワークショップを開催しました。

2時間弱続いたワークショップには、イスラム教デヴィシヤン記念中学校の学生数名が参加し、講師は、彼らの作品の質が高いと評価しました。

セリナ・チャン

国連水会議における“水の正義宣言文”

3月23日に開催された国連水会議において500以上の組織によって署名された「水の正義宣言文」がピープルズ・ウォーター・フォーラムのメンバーによって、本会議場のハイレベル・セグメント演壇（政府高官担当部局所掌）にて発表されました。環境保全を推進し、「2030年までに誰もが水と衛生的な状態を入手し、管理できるようにする」という6番目の持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献する努力の一環として、ワイズメンズクラブ国際協会は、この宣言文の内容を支持し、署名した組織との連帯を表明します。

宣言文は、最前線で水を守る人々の声なき声を敷衍し、基本的な問題を地球、地域、国、国際レベルで水政策の中心に据えるよう訴えています。

宣言文は「水と衛生的な状態を手に入れることは基本的人権である」また「水は共有財産であり、商品としてではなく、公的な管理のもとで差別なく誰もが入手できなければならない。」と述べています。さらに宣言文は、水政策は、川、湖、湿地、湧き水、帯水層の持続可能な管理も優先すべきであると述べています。

この宣言文は、水危機に取り組むための多国間政府間機構を設立する事によって国連の内部に水の「憩いの場所」とも言える組織を作る必要性を訴えて締めくくっています。

以下に署名した組織、先住民族、社会運動、水の擁護者は、国際連合2023年国連水会議において演説をおこない、声なき声を敷衍し、以下の基本的な問題を地球、地域、国さらに国よりも小さな組織レベルで水政策の中心に据えるよう訴える：

1. 水と衛生的な状態を手に入れることは基本的人権である。水は、共有財産であり、商品としてではなく、公的な管理のもとで差別なく誰もが入手できなければならない。衛生的な状態を確保することを含め、水の個人と家庭での使用は、農業、農業関連ビジネスや製造業での使用よりも最優先されるべきである。
2. 水政策は、健全な環境を享受する人権の枠組みの中で、汚染、森林伐採、砂漠化、生物多様性の喪失、気候変動などの現在進行中の危機に対処する鍵として河川、湖、湿地、湧き水、帯水層などの良好な生態学的状態を保証しつつ、持続可能な管理を優先しなければならない。政府は、法律や規則の執行に基づき農業関連ビジネスと他の産業が使用する水と、それが全ての天然資源に与える影響について水の利用者が確実に説明責任と責任を負うようにし、使用者の自発的な対策に依存してはならない。
3. 先住民族は、明確な生得権を有しているだけでなく、水と調和して関わる、独自の知識体系も有している。従って国は、先住民族の地位を権利の集合体として認識し、以下の権利を尊重しなければならない。先住民族の領土権、自決権、また彼らに影響を与えるいかなるプロジェクトに関する、強制されることのない事前のインフォームドコンセントによって意見を求められる権利。更に水を含む彼らの生活管理が国際連合先住民族宣言に準拠し、先住民族の基準に従って滞りなく遂行されなければならない。
4. 国は、地域社会の水資源と衛生的な状態を正当に認識し、支援しなければならない。同様に先住民族の知識と伝統を尊重する公的組織と地域社会とのパートナーシップを構築する事によって、特に農村部と先住民族により設立された組織を正当に認識し、支援しなければならない。
5. ほとんどの国において農村部の人々および都市部の裕福でない居住地域で生活している人々は、水と衛生サービスに関して最も差別を受けている。これらの人々が水と衛生サービスを楽しむことを最優先することが国家の義務である。国際協力は、これらのグループに属する人々を優先して行動しなくてはならない。
6. 「権利を有する者たち」が全ての水政策問題に積極的、かつ自由で有意義に参加することが承認され、支持され、保証されるべ

きである。その際には女性たちが一番大きな責任を担い、家族のために水を確保する仕事に従事しているにも関わらず、疎外されている苦しみを克服し、実質的に平等な女性の参加を重んじること。そのような「権利を有する者たち」の参加が、社会のエリートたちだけが法律に関する決定を行うという誤った政策決定への参加モデルを是正し、意思決定に影響を与える力となるはずである。

7. 水と衛生サービスは、常に人権に沿って提供されなければならない。弱い立場、疎外された立場、貧困に身を置いているが故に使用料金の支払いが困難である人々を含めて、誰ひとりとして取り残されてはならない。水と衛生サービスの民営化、商品化、金融化は、人権を侵す危険性があり、地球、国家、地方レベルでも国際協力においてもそれらを政策として検討すべきではない。水と衛生サービスは、公と公、公と地域社会の協働関係を通して強化され、その公的所有と管理が促進されるべきである。

8. 国家は、労働者の諸々の権利と良好かつ公正で平等な労働条件を守り、保証しなければならない。家庭外の生活の分野で諸々のサービスを受けることは、公共政策において早急に優先されるべきであり、公共の場、職場、更生施設、学校、医療施設、そして日常の経済活動で食料やその他の物品を商人が売っている市場も含まれる。

9. 水危機を解決するためには、現在の脆弱な国連の多国間枠組が上述した課題に取り組むことのできる管理体制に移行することによって改善されなければならない。そのためには、定期的に水と衛生に関する会合を開催するための政府間機構および公約の履行を監視する確固たる機構を設立し、それらに人権に関わる人々と人権を有する者たちが全面的かつ効果的、有意義に関わるべきである。

人権を有する者と水の擁護者は、人権を守ろうとするが故に、しばしば犯罪者扱いされ迫害される。私たちは、国連が6番目の持続可能な開発目標(SDGs)を実現する上で、地域社会の最前線にいる人々との対話と協働を優先せることを要求する。それには先住民族、小作農、裕福でない地域の住民、ジェンダー・出身・階級に基づいて差別を受けている人々および安全な水と衛生的な状態を得ることを未だに保証されていない全ての人が含まれる。

Celebrating our Past, Present, and Future

*Mrs Debbie Redmond
International Historian*

私たちの過去、現在、未来を祝う
国際ヒストリアン
デビー・レッドモンド



私たちの素晴らしい活動を写真や物語で残していきましょう

私たちは、台北で、今年の3月に、輝かしい私たちの歴史を祝いましたが、私たちの功績を認識し、将来の計画を立て、これまでの功績を振り返り、現在進行中の活動を保存し続けることが重要です。

クラブや区、地域の活動を丁寧に記録していきましょう。歴史的な文書、奉仕活動の記録、そして私たちの写真を保存することが重要です。リーダーシップやプロジェクトを他の人たちに引き継ぐとき、情報を保存しましょう。

クラブが、写真や書類の保管をある一人の人物に任せてしまうことが往々にして行われています。万一の場合に備えて、バックアッププランは用意していますか。もし、その人物やアーカイブされたものに何か問題が起きた場合、クラブはどうやって未来の会員にそのクラブの歴史を紹介するのでしょうか？

会員の高齢化によって多くのクラブ（区さえも）を失いました。そして、その歴史を表す品々を保存しない限り、彼らの努力の成果を示すものは、ほとんどありません。情報を複数の人が利用できるようにするなど、いくつかの保存方法があります。保存されたアイテムは、クラブが支援している地元のYMCA（YMCAはアーカイブを保存していたり、記録担当者に預けています）や地元の歴史協会など、何らかのアーカイブに保管したり、デジタル化してクラウドに保存したりすることができます。

国際本部には現在、デジタル記録を受け取るためのオンライン・デジタル・ストレージ・システムが整備されています。登録は以下のリンクからできます。

詳細については、メールで問い合わせてください。moscholar@gmail.com

YMIデジタルアーカイブ



2023年3月12～14日に開催された、国際次期理事サミットでのデビー・レッドモンド

出典：国際会長ニュース2023年6月号

https://drive.google.com/file/d/1CiY-nCHSaI-EeM_6IcKNRu1TrBcT68gT/vie



Internships 4 Global Outreach #IGowithYMI

世界に手を伸ばすためのインターン制度

IGo は、YMCA とワイズメンズクラブが、18 歳から 29 歳までの YMI の一員または YMCA のスタッフに職業体験の場を提供するプログラムです。組織内部でのリソースの提供によって、IGo は、様々な、外国での生活と仕事の短期間の機会を提供し、以下を促進します。

4 KEY ACTIONS



ENGAGE 関わる

世界との関わりを築く

異なる文化と外国語を経験する。視野を広げる。展望を持つ。知識を持った活発な地球市民となる。

CONNECT 繋がる

職業的、社会的なネットワークを築く

新しい人と出会い、一生続く友情を深める。国際交流を分かち合う。個人的、職業上のネットワークを補完する。異なる文化と外国語を経験する。視野を広げる。展望を持つ。知識を持った活発な地球市民となる。

BUILD 築く

経歴を築く

履歴書を豊かなものにするために、仕事と生活スキルを得る。より魅力的な採用応募者になる。雇用者となる人々、世界に対して訴えることのできる財産を築く。

EMPOWER 強める

スキルと自信を築く

自信を持つ。自分の力を知る。リーダーになる。行動を起こす。より良い世界のために働く。

Scan to learn more

